

国際会議から 災害と危機管理に関する国際会議 (ICDEM2013)

本会議はWorld Academy of Science, Engineering and Technologyが開催する会議で、参加国は開催地であるトルコ周辺の中東諸国が中心でしたが、他にもアフリカ諸国やマレーシアなどの東南アジアの国々からも多くの参加者がおり、本会議における発表者の総数は160名でした。

本会議では筆者のような技術者による研究だけでなく、自然災害に関する社会学や、災害時における医療関係者の取り組みなど、災害に関する幅広いテーマを扱っていることが大きな特徴でした。災害対策には分野を横断した取り組みが重要ですが、本会議への参加は自身の専門分野はもちろん、他分野の研究テーマについて勉強することができる貴重な機会となりました。研究の発表方法にはポスターセッションと口頭発表とがありましたが、筆者は鉄道盛土の雨量規制値にのり面工の遮水効果を考慮する方法につい



イスタンブール市内を走るトラム



発表会場の様子



高柳 剛
防災技術研究部
地盤防災研究室
研究員

て口頭で発表しました。

イスタンブールでは地下鉄など交通インフラの整備の遅れが課題とされていると聞いていましたが、市内にはすでに最新式のトラムが整備されており、市民の足としてしっかりと定着していました。筆者もトラムで風情のある街並みを楽しみながら会場にたどり着くことができました。

正式名称：ICDEM 2013 : International Conference on Disaster and Emergency Management
 開催国：トルコ(イスタンブール)
 期間：2013/06/20-21
 主催：World Academy of Science, Engineering and Technology
 開催頻度：4回/年
 次回開催予定：2013年12月、タイ
 ホームページ：<http://www.waset.org/>